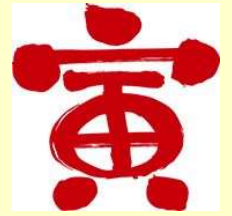


さくらユウワ情報



新年号

2022年
明けまして
おめでとうございます

本年もよろしく
お願いいたします

税理士法人 さくら優和パートナーズ
職員一同



「虎乗り天神」船渡張子（埼玉県越谷市船渡）

税理士法人 さくら優和パートナーズ

■鹿児島本部

〒891-0115
鹿児島市東開町3番地170
TEL 099-260-0100 FAX 099-260-0113

■鹿児島中央支店

〒892-0844
鹿児島市山之口町1番10号 鹿児島中央ビル7階
TEL 099-213-9706 FAX 099-213-9707



◆新年のご挨拶◆



新年明けましておめでとうございます。

まさかコロナが2年も続くとは思っていませんでした。ほとんどのみなさんも同じだと思います。しかし、今年はなんとか乗り越えないといけないと思うのも、これまた一緒だと思います。一般的に言うと、今後1年ないし3年間はコロナで疲弊して過剰債務を抱えた事業所さんには、生き残りをかけた勝負の年の連続になりそうです。

当事務所のお客さまも単に事業をコロナ前に戻したり、現状維持にとどまるのではなく、コロナ後の将来の経済・社会動向をしっかりと見据えて、自社の強みや弱みを今一度分析・整理し、思いきった経営改革を実践していく必要があるのではないのでしょうか。

当事務所も、今年はさらに思い切ったチャレンジをしていきたいと思っております。

どうぞ、新年もよろしく
お願い申し上げます。



会長 岩元 耕児

新年明けましておめでとうございます。

寅年は「成長」や「始まり」の年です。少し前まで飼っていた愛犬（柴犬）の名前が『虎』丸でした。ふり返ればすべてはうれしい思い出です。長く続くコロナ禍での生活は慣れていくしかありません。いや変化には対応です。先にある希望の時代を見据えて進んでいきましょう。

オムロン創業者立石一真氏の言葉を教えてもらいました。

「会社にとっての利益は、人間にとっての空気」。空気がなかったら人間は生きていけない。だから会社にとって利益は出さなければいけない。けれど、空気を吸うためにだけ生きている人間はいない。

（税）さくら優和パートナーズは経営者の一番身近にいる専門家として、いつも身近に待機しています。お気軽に声をかけてください。少しでもお役に立てるよう、知識を磨き、技を鍛え、一緒に悩み考える存在でありたいと努力してまいります。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。



所長 貫見 昌良

明けましておめでとうございます。
今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。
今年の日本社会（企業）は、「生産性（1人当たり付加価値）を上げて、賃金を上げる」方向に一気に進むことは確実であります。ここで、企業経営者の皆さま方に望むことは、次の2点であります。

1. 全ての社員に「リーダーシップ」を発揮させること
それは、社員1人ひとりが、①しっかり目標を持って、②勇気を出して先頭に立って行動する、③ここは、というとき状況判断（決心）できて、④自分の個性（強み）を発揮させる—もっと積極的に自己を表現させる。

2. 全ての社員が「自己実現」している企業へ
それは、社員1人ひとりの個性（強）を引き出して、その社員に「やりたい仕事をさせて、高い成果を上げさせて、納得のいく賃金にする」
—社員の適材適所への配置転換。
社員の意識（自覚）が、高まれば、生産性（1人当たり付加価値）は必ず上がります。



相談役 徳留 忠敬

明けましておめでとうございます。
昨年秋口からワクチンの接種が進み国内では感染者が減少し完全なる終息はまだ見通せませんが、わずかながら明るい兆しも見えてきました。
今年は、これまでの価値観が大きく変容を遂げるポストコロナ時代へのステップの一年となるかもしれません。事業環境の変化を転機と捉え、顧客のニーズや自社の強みに着目し、事業を見直すことは以前に増して重要です。また、働き方改革（優秀な人材の確保）、DX推進（インボイス制度への対応）、SDGs（社会への貢献）等は取組み、時代の要請でもありしっかりと対応していくことが企業の安定した成長へとつながっていくための要となってくるでしょう。

弊社では、これらの課題に税務会計を中心とした様々なスキルを持って、お客様の成長発展を遂げる支援を行ってまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



副所長 野田 勝

明けましておめでとうございます。皆様、健やかな新年をお迎えのことと思います。
さて、昨年は世界中で新型コロナのデルタ株が猛威を振るい、本年はもっと感染力が強いといわれているオミクロン株が多発し、第6波となるかもしれません。
もしも感染した場合、病院などで隔離され誰とも面会もできなくなり、重症化しそのまま死亡するというリスクもあることから、今元気なうちに遺言書を書いておきたいという需要が高まって、公証人役場は随分込みあっており、出来上がるまで時間が掛かっているようです。
遺言書はまだまだ先で良いと考えている方、公正証書遺言のほかに法務局で自筆遺言書を預かる制度も出来ましたので、今一度考えてみませんか？



顧問 中迫 純夫

令和3年12月28日をもって、株式会社アセットパートナーズ南九州から商号変更し、「さくら経営支援株式会社」として、新たに船出いたします。改めましてご挨拶いたしますが、この場をお借りして新商号のご案内をいたします。商号が変わり、今まで以上に、皆様がお悩みになっている経営の様々なお困りごとに、誠心誠意取り組んでまいります。
さて、コロナの終息も見えかけた矢先のオミクロン株の発生、油断ならない状況であることは皆様もご承知かと存じます。これからは、コロナのようなまだ見ぬ大きな障害を想定しながら経営していかなければなりません。何事にも負けない「強い会社」を作ることは経営者の最終目標かもしれません。
弊社にお手伝いできることがあれば、些細なことでも結構ですお気軽にお問ひ合わせください。
寅年に虎のように強い会社になる！いいチャンスだと思っております。



さくら経営支援株式会社 社長 山之内毅明

新年明けましておめでとうございます。
昨年末からコロナ禍が「落ち着いたように」思いますが、まだまだ油断のできない中、木材や原油を始めとした各物資の高騰もあり、中小企業の舵取りはより厳しくなっていくと考えられます。厳しい外部環境の中で、自社の事業の磨き上げをどのように進めていくか、また会社を後世まで残していくために何をすべきか、経営者にとって重要な判断に迫られる場面も多く到来します。そのような場面で皆様のご判断の基準となるようなご提案、ご支援ができるよう、全社を挙げて取り組んでまいります。
本年もどうぞよろしく申し上げます。



株式会社 さくら優和コンサルタント 社長 新徳博幸

明けましておめでとうございます。
昨年も、年明けから「新型コロナウイルス」に振り回された一年となってしまいました。しかし、2月からワクチン接種も始まり、大多数の方々が2回目接種の終わった秋口には、感染者数が激減し、鹿児島県内も感染者ゼロという日が23日間続きました。後は「オミクロン」が気になりますが…
昨年は、明るいニュースも多かった年だったと思います。無観客とは言え東京オリンピックでの金メダルラッシュ。特に野球・ソフトボールの金メダルは嬉しかったです。その他では眞子様のご成婚、眞鍋様のノーベル賞受賞、それと何と言っても大リーグ「二刀流」での大活躍、大谷選手です。投手としての9勝も凄いですが、本塁打49本はもっと凄い事です。おまけに MVP 受賞と最高な年でした。今年の活躍も期待したいと思います。
仕事関係では、「インボイス制度」「改正電子帳簿保存法」等また時間がありますが、スタートします。帳簿保存法は今年の1月よりスタートしていますが、2年間の経過措置が取られています。
今年も前進あるのみ「明日は明日の追い風が吹く」本年も宜しくお願ひ致します。



副所長 内山 厚志

あけましておめでとうございます。
新型コロナは未だ予断を許さない状況が続いています。今は終息を願うばかりです。
コロナ禍でも「日経平均株価」は上昇傾向にあります。日経平均株価が高いと中小企業の株価も高くなり事業承継にも影響を与えます。
このような中で、令和4年度税制改正大綱でも「相続税と贈与税の一体的課税制度」の構築に向けて本格的な検討を進めるとなっています。仮に贈与税の暦年課税を廃止し全て相続時精算課税とする、又は贈与加算の期間制限をなくするとしたら、相続税・贈与税で負担する税額をトータルで捉えたと、税負担の最小化を図ることができなくなります。
皆様に早めの情報提供を行い、一緒に検討できればと思います。



顧問 富園 和生

あけましておめでとうございます。
昨年は新型コロナで人々の行動が制限されるなかで東京オリンピックが開催されるなど、大きな催しもありましたが経済的には盛り上がり欠けた印象でした。
令和4年度の税制改正では経済の活性化等のためにサラリーマンの更なる所得拡大を目指した税額控除制度が導入されます。先立って企業の健全な発展を願うものです。消費税は来年10月1日からのインボイス制度移行に向け昨年10月から課税事業者を証明する「適格請求書発行事業者登録」申請が開始されています。
消費税の課税事業者におかれては、早めの登録申請でインボイス制度に備えられるようご相談ください。
皆様にとって本年がよい年でありませうようご祈念申し上げます。



顧問 竹ノ内 正雄

恭賀新年
経営環境は新たな疫病の拡大で先行き不透明感が増加していますが、一方、原理原則に基づいた「あり方」がより重要となってきました。
常に、我々の「存在意義とは？」「WHY（なぜ）」「HOW（どうやって）」「WHAT（何を）」と、時代に合わせ柔軟かつスピード感をもって変化させていくことが求められます。壬寅の年は、冬が厳しいほど華々しく生まれる年だそうです。
仕事の役割（公）と、家族の中の役割（私）、そして1個人の愉しみ（個）この3つのバランスをとり、健康第一で頑張りたいと思います。



株式会社 さくら優和コンサルタント 副社長 二木宏造

◇鹿児島中央支店◇

新年あけましておめでとうございます。

昨年4月に弊社は、鹿児島市中心部、鹿児島中央ビル内に「鹿児島中央支店」を出店し、大きな飛躍の一年となりました。新支店は7名でスタートし、不慣れな環境に何とか対応しながら徐々に軌道に乗ってきているところでございます。

昨年から弊社は会計のデジタルトランスフォーメーション「DX会計」に取り組んでいます。

「DX会計」とは、クラウド会計を中心に経理業務を自動化し、クライアントの皆様の生産性の向上に寄与するとともに会計事務所が提供するサービスの多様化を目指すものです。

日本では少し落ち着いてきましたが、世界に目を向けるとコロナ禍の終焉はまだ見えない状況です。不安定な環境で会社経営を継続するには生産性の向上と業務効率化は必須といえます。今年は「DX会計」により弊社と一緒に業務改善を実現しましょう！

鹿児島本部および鹿児島中央支店一同、クライアントの皆様や地域経済社会の更なる発展に貢献できるようより一層精進致します。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



鹿児島中央支店 支店長 加藤大輔



左前より、増田、加藤
左奥より、中村、四反田、上床、大山、坂之上



◇事業支援1部◇

世の中がコロナ禍で一変した2020年、「早く普通の生活ができますように」と願いながら2021年が過ぎてゆき、新年2022年を迎えました。長く長く窮屈な日々の中で、家族と過ごす時間は増えました。それは良いことなのでしょう。「家族のしあわせ」を守っていかなければなりません。「ウイズコロナ」元には戻らないのでしょうか。では、変わるしかない、変えないと生き残れない。今こそ、皆で知恵を絞る時です。一致団結する時です。そして「行動を起こしましょう！」みなさんへ寄り添い、時には厳しく、一生懸命ご支援致します。この難局をともに乗り切りましょう。

部長 田中哲美



左より、田中、鎌田、片平



◇事業支援2部◇

あけましておめでとうございます。早いものでコロナ禍の中2度目の新年を迎えました。中々以前の生活へは戻れないですが不慣れた生活の中でも楽しみを見つけたいと思っている次第です。令和4年は干支でいうと壬寅となります。「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。新型コロナウイルスという厳しい冬を超えて新たな成長の1年としていきたいところです。

私共、事業支援部は皆様のお役にたてることを第一に考えております。些細なことでも疑問点があれば専門外のことでも構いません、まずはお尋ねください。本年も宜しくお願い致します。

部長 岩下敏郎



左より、八木、岩下、田添



◇業務支援部◇

事業承継を進めることが、中小企業経営者の身近にいる私たちの仕事だと考えております。ここにきて、コロナの影響で事業の先行きが不透明になり、事業を渡す側も引継ぐ側も相当な覚悟が必要になってきたのではないのでしょうか。先日、話をさせて頂いた社長は、娘が事業を引き継ぎたいとなるような会社になりたいと、新しい事業に着手することを決意し設備投資や販売戦略等について熱のこもったお話を聞かせてくれました。そろそろ事業承継を考えなければならない年になって、事業を軌道に乗せておかなければ娘や従業員に苦勞を掛けてしまうとの社長の思いを感じました。また、社長は経営者としての集大成として事業を大きく成功させたいとの思いも感じました。私たちにお手伝いできることがあればできる限りのお手伝いしたいと思うことでした。今年には経営支援頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

部長 野田直明



左より、鋤崎、野田(直)、徳留(健)

◇経営革新部◇

明けましておめでとうございます。
2022年は経済活動の正常化により、消費は回復ペースを高める見込みとのこと。
ワクチン接種の普及率が7割を超えるなか(昨年10月末時点)、外出関連の経済活動を本格的に再開させつつ、抑制されていた消費の一部が顕現化する予測となっています。
コロナ危機下で積み上がった過剰貯蓄は40兆円。
この増えた貯蓄の用途についての調査では、4割弱が消費に回る可能性があるそうです。
2022年は過剰貯蓄が消費に回ることが期待されており、消費ニーズをいかに獲得できるかが重要になってまいります。
明るいましを見せ始めている2022年が始まります
私共も皆様のお役に立てるよう精進してまいります。

部長 今徳貴司



前より、今徳、四位、尾迫、淵之上



◇事業繁栄部◇

明けましておめでとうございます。
令和4年(2022年)は寅年。しかし正しく干支を指す場合、令和4年は「壬寅(みずのえ・とら)」というそうです。寅年は「才能や運気が芽吹き新しい成長が期待できる」年といわれています。「コロナ流行前の生活には戻れない・・・」どうも後ろ向きな感じがしますが、デジタル化が進み良いこともありました。
弊所のモットーは「明るく前向きに元気よく」、気持ちがあれば逆転の発想で思わぬことがチャンスとなるかもしれません。関与先様の目標実現のため、全力でサポートいたします。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

部長 南 弘規



左前より、山下、前田
左奥より、大工、南、新徳



◇経営支援部◇

令和3年は、つきなみではございますがコロナに振り回された1年となりました。
ご承知のとおり、飲食業や旅館・ホテル業等は大打撃を受けました。
ただ、コロナ過でも日頃から堅実な経営を行っていらっしゃる顧問先様におきましてここ5年間で最高の利益を出されたところもございました。
先を見る目と変化に対応できる柔軟性には、驚かされます。
しかし、その顧問先様におきまして、これから先の展望が見えないとお話をお伺いいたします。先の見えない状況のなか、顧問先様と一緒に顧問先様の課題解決の一助になればと思います。

部長 坂口 公史



左より、山之内、坂口、シャカイ



◇経営サポート部◇

令和4年を迎えまして、お客様におかれましては本年も当部メンバーをよろしくお願いいたします。

さて、昨今の外部環境をかえりみますと、ウィルスや温暖化問題など地球規模の事柄が、くつきりと私達の経営や生活に影を落としてきました。かつて、進化論のダーウィンは「強いものが勝つのではなく、環境に適応したものが生き延びる」と提唱しており、今は変化への適応力が何よりも求められる時代になったようです。一方で普遍的で変えてはならないことも多々あります。すなわち、いまを生きる短期的目線と将来を見据えた目線の両方をもちあわせたいものです。

経営サポート部は、男女8名で構成され、私54歳を除きますと平均年齢34.8歳と変化対応力の高い(はず)の世代です(笑)。メンバーは個性と専門性を生かしながら、真摯にお客様に向き合い税務会計・財務・金融などの問題に引き続き最適なアンサーをだして参る所存です。最近私が心にとどめているのは、アメリカの経済学者のチャンドラーが発していた「組織は戦略に従う」という言葉です。いわば、この変化の時代にどう対応するべきの応援歌にも聞こえます。個の力をいかにひきだし、部の力にするかという命題です。文字に書くのは簡単ですが、実践となると難しいものです。少しでも近づければと、微力ながら仕事を通し研鑽したいと思えます。これをもって、年始の挨拶に代えさせていただきます。

1 課



左前より、土井、大野、右田
左奥より、福德、岩元(真)

2 課



左前より、上園、大野
左奥より、福島、追立

部長 大野芳人



◇業務サポート課◇

あけましておめでとうございます。

昨年の新年号で、コロナ禍でアウトドアがブームになっていると申しましたが、キャンプ人口はさらに増えているようで、多くのホームセンターやスポーツ用品店、さらに百元ショップまで売場面積を大幅に拡大させていて、品揃えも目を見張るものがあります。

冬になっても売場の賑わいは変わらず、道具の質の向上によるキャンプの通年化で、コロナ禍で成長したレジャーとして、着実に定着していているように思いました。

秋以降、コロナ感染者数が一息つき、世の中も賑わいを取り戻し始めていますが、変異株の心配もあり、まだ不透明な状況です。

日常が戻り、飲食業・観光業などレジャー産業全体に活気が戻ることを心から願います。

本年もよろしくお願いいたします。

課長 藺田聡美



左より、児島、藺田、藤村、花田



◇総務課◇

新年 あけましておめでとうございます。

「コロナに打ち勝った証し」となるはずだった、東京オリンピックは、ほぼ無観客で開催せざるを得なく、選手にとっても大きく様変わりしたオリンピックでした。そのような中でも、自らの限界に挑み、仲間たちと力をあわせ、支えてくれた人たちの思いに答える選手の姿から、大きな勇気と感動をもらいました。

まだまだコロナ禍で、「終息」はおろか、変異株の出現で「収束」の目途すらたたないですが、こんな時だからこそ、「明るく、前向きに、元気よく」日々を過ごしていきたいと思えます。皆様にとりましても、良い一年となりますよう、お祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

郡山 恵子



左より、日高、郡山、大脇





支援室挨拶



☆さくら優和パートナーズでは、それぞれの専門性に特化したチームで、あらゆるニーズに対応いたします。

社福・公益支援室

ウィズコロナ時代のカギは地域とのつながり。また、先行きが見通せる“ビジョン”がとても大切です。事業の継続性や地域での役割を内外にきちんと示すことが求められています。

当支援室ではその経営を全面的にサポートして参ります。



室長 田中哲美

アグリ支援室

農業の分野におきましては、さまざま課題が山積されております。従来から課題として、以下の点が挙げられます。

- ・離農や高齢化による担い手不足
 - ・耕作放棄地の拡大
 - ・海外の安価な農産物の輸入による影響
- 課題克服のため、農業分野はどうあるべきか？

- ・1つ目は『大規模化』
- ・2つ目は『スマート農業』

他にも様々な課題克服のための施策はあると思われませんが、農業＝農作業ではなく、食に関する全てのビジネスが農業のビジネスチャンスにシフトしています。



室長 坂口公史

企業防衛推進室

長引くコロナ禍で人々の生活様式は一変し、中小企業も厳しい経営環境が続いています。新型コロナウイルスがこれほどまでに拡大して世界中に猛威を振るうことになることを誰が予想できたでしょうか。保険はこうした「まさか」、「もしも」といった方が一の事態が発生した時にこそ大きな威力を発揮します。あの時入っていればと後悔しないよう、少しでも不安がある場合は担当者にお伝えください。企業防衛推進室が全力でサポート致します。



室長 岩元真也

相続支援室

鹿児島で相続税の申告が必要となるのは被相続人3.5%の方のご家族(全国平均8.3%)。税務署より相続税の「おたずね」が届くのは7～8か月目、役所や銀行等での手続には時間と労力を要し申告期限は10か月です。

当事務所へ早目のご相談をお願いします。



室長 野田直明

資産活用・信託支援室

民事信託は、信じて託すという委託者(財産を持っている人)と受託者(財産を管理する人)の信頼関係を前提として、受益者(利益を受ける人)のために財産を管理する制度です。民法を前提とする従来の手法は信託でも代替できるうえ、これまで為しえなかったことも信託では実現することができます。

認知症対策や成年後見制度に代わる財産管理のほか、企業においても不動産や株式の管理や集約などに活用できます。

事業承継、資産承継でお悩みの方はぜひご相談ください。



室長 南弘規

IT・教育推進チーム

令和4年1月よりオフィスで高まるDXの機運を踏まえて、帳簿書類を電子的に保存する際の手続きを大幅に簡素化しました。電子データで保存を促進し、企業のペーパーレス化をより積極的に進めやすくする改正となっているのですが、データ保存について、電子データは電子での保存が必須となり体制が整わない企業が多く、直前で2年間の猶予を設けることとなりました。この2年間の間で体制を整える必要があります。私共でもTKC 証憑ストレージサービスやマネーフォワードクラウドBox、等のシステムをご用意して支援させていただきます。



チームリーダー 今徳貴司

事業承継・M&A 支援室

事業承継支援室では、企業の円滑な「経営承継」と「資産承継」をご支援しております。承継相手の選択肢は親族内、親族外に限らず、M&Aも選択肢となっており、手法も多岐にわたります。

資産承継についても専門家として有用な情報提供に努めてまいります。些細なことでもお気軽にご相談下さい。



室長 新徳博幸

創業・地域創生支援室

令和も4年目を迎え、新型コロナウイルス対策やデジタル化・脱炭素実現など、もはや日本経済のエンジンである中小企業の在り方を根幹から見直す局面に入ったと思います。当支援室においては、「危機こそ飛翔の機会」とらえ、果敢に創業を実現したい方に、業種を問わず事業・金融・補助金・経営計画など、お客様に合ったオーダーメイド支援で、危機に強い創業をテーマに活動いたします。



室長 大野芳人

SDGs推進チーム

昨年は、弊社のSDGs元年であり、会計事務所ができる持続可能な社会への貢献活動を京都大学等4名の大学教授の皆様や、地域金融機関の協力を得て模索して参りました。

現在、会計事務所が作る「ESG評価表」を試作しており、本年はクライアント企業様への提供を開始する予定です。

SDGsに関心、興味のあるクライアント企業様は体制の構築等にも協力させていただきますので、弊社にご相談ください。



チームリーダー 加藤大輔

医業支援室

一昨年より続いた新型コロナ感染症は私たちに様々な変化をもたらしました。先日発表された2022年の診療報酬改定基本方針にもあるように医療業界においても働き方の変革などが必要となりそうです。

経営者の皆様の側近として寄り添えるよう精進してまいります。



室長 増田真一

海外ビジネス支援室

2020年にイギリスの旅行会社が「旅行制限が解除された時にいきたい国」の関連キーワードでGoogle検索データを分析したところ、アメリカとカナダでは日本が1位でした。2021年のRakutenInsightのアジア対象の調査では、日本が1位を獲得しました。アフターコロナの準備をしましょう！



室長 四位晶子



※ご希望のお客様へメールにて配信させていただいております。担当者へご連絡いただくか、こちらのQRコードを読み込んでいただきますと、お申込みいただけます。

